

人間の体重の半分以上
(成人なら 60~70%) は
水でできているんだね♪



【縄文時代は今よりも暖かった……】

寒い冬にこんな話はいかが…。5000年前の縄文時代の前～中期のころは、気温が今よりは平均で2～3℃高かったといわれている。海水面が高く、海岸もずっと内陸にあったようだ。北の地に縄文時代の大きな遺跡が多くあるのは、多少寒くても人々は容易に暮らせたということだろう。



嬉野釜生田町の縄文時代の天白遺跡には、大量の川原の石が円をえがくように幾重にも置かれ、その数は30箇所にもなるという。これらは縄文人の「マツリ」の場であり、天を仰ぎ見て祈りをささげたのであろう。今から3500年前の話である。

西日本では最大の規模であり、私たちの身近なところにも古代のストーンサークルがあった？といえるのでは。古代ロマンのお話……。

1月の市民ギャラリーは市民の皆さんの絵画や写真の展覧、児童生徒の作品展などがあります。「松阪市幼小中造形展」は園児、児童、生徒の作品展です。はにわ館は船形埴輪を中心とした常設展示です。ご来館をお待ちしています。(所長)

文化財センター はにわ館 & ギャラリー 1月の催し物予定

1月の休館日は1日(木)～3日(土)、5日(月)、13日(火)、19日(月)、26日(月)です。
開館時間は9:00～17:00です。



バーコード読み取り
(文化財センター情報)

【はにわ館】 入館料 100 円 (18 歳以下無料) * 入館は 16:30 まで

- 第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 ■企画展「天花寺山の遺跡」 1/31(土)～3/22(日)
- 第2展示室 ■展示説明会「天花寺山の遺跡」 1/31(土) *13:30～14:30

【ギャラリー】 入場無料

- 第1G ■村林孝生 松阪と明和を描く絵画展&絵夢アトリエグループ展②
1/6(火)～11(日) *16:00まで
- 第1・2・3G ■松阪市幼小中造形展 1/17(土)～20(火) *16:00まで
- 第2・3G ■松阪工業高等学校繊維デザイン科 第21回卒業制作展 1/22(木)～28(水)
- 第1G ■松阪美術協会 新春展 1/25(日)～2/1(日) *最終日は16:00まで
- 第2G ■森川久写真展 燈火(AKARI) 1/31(土)～2/1(日) *最終日は16:00まで

【「若水」から考える、人と水の関係史】

「元日の朝に初めて汲む水」のことを「若水」と言います。若水は「元日の行事の使い水で、口をすすいで身を清めたり、神への供物や家族の食物の煮たきに用いたりする」¹⁾もので、「一年の邪気を除く」²⁾と言います。若水を汲むことは、「若水迎え」とも言われ、儀礼的な色彩が濃く、井戸に餅や洗米を供え、祝いの唱え言をして汲む土地が多かったそうです³⁾。

かつては松阪の多くの地域で「若水迎え」は行われていたが、「水道の普及以来大方はやめてしまい、唱え言なども聞いたことがあるという程度である」⁴⁾と言ったことが、1981(昭和56)年発行の『松阪市史』第十巻(史料篇 民俗)に書かれています。この本が出た34年前よりも水道が一層普及するだけではなく、ペットボトル入りの水までごく普通に販売されるようになった現在では、「若水」という言葉は知っていても、「若水迎え」を意識して行っている人は非常に少ないと思われます。

そもそも水は、人間に欠かすことのできないものです。日本列島において、大昔の人々はどのように水を得ていたのでしょうか。

縄文時代までの人々は、まず川や池、あるいは湧き水などから水を得ていたようです。地面に穴を掘って木製の枠をはめこんで作った井戸が急増するのは、今から2200年程前の弥生時代前期(紀元前3～2世紀)からです。井戸にまつわる祭祀の痕跡が確認できるのも弥生時代からです。これらのことから、「人と水の関係」は縄文時代と弥生時代で大きく変化したことが分かります。『日本考古学事典』(三省堂、2011年)の一節を借りれば、「水が欠かせない水田農耕を生活の基盤におき、水害の恐れが絶えない低地で生活した弥生人には、水の入手だけではなく、治水の問題も大きく、水と人間との関係では縄文人とは異なった段階に達している」⁵⁾のです。

はにわ館第1展示室では、「埴形埴輪・導水」や「埴形埴輪・湧水」という極めて珍しい埴輪を常設展示しています。これらは松阪市の宝塚1号墳から出土した埴輪ですが、前者の埴輪の中には水を流す表現の土製品があり、後者の埴輪の中には井戸状の土製品があることから、古墳時代の「首長の水のまつり」を表すものではないかと考えられています⁶⁾。はにわ館にご来館された際には、ぜひ「人と水の関係」に思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。(担当)

埴形埴輪・導水 (はにわ館蔵)



埴形埴輪・湧水 (はにわ館蔵)



↓ 埴輪の中の「井戸状施設」



1) 『世界大百科事典』DVD-ROM 第二版、平凡社、1998年。

2) 『広辞苑』第五版、岩波書店、1998年。

3) 『世界大百科事典』DVD-ROM 第二版、平凡社、1998年。

4) 『松阪市史』第十巻(史料篇 民俗)、勁草書房、1981年、p.252。

5) 『日本考古学事典(小型版)』三省堂、2011年、p.840。

6) 『宝塚古墳』松阪市教育委員会、2005年、pp.11-12。